

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成14年4月期)

水質概要

4月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層14.3、中層14.0、下層13.9)と比較してほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、4月の水温変動は13?17で変動しており、下旬に向かうにつれ上昇していた。水深による顕著な差異は見られなかったが、高塩分水流入時に下層の水温が2程上昇していた。このことは、大橋川を通じて中海からの高塩分水が流入していることを示す。

4月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層4.2psu、中層6.3psu、下層7.3psu)に比べて、ほぼ平年並みの変動であった。また、4月観測においては、高塩分水の遡上は周期的に確認されたが、15psu以上の高塩分水の流入は13日程度であった。

4月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・下層ともに4.5?9.2mg/lの変動であった。(平均値:上層6.2、中層:8.0、下層:5.7)概ね4mg/l以上の変動であり、顕著な貧酸素水の流入は見られなかった。

図1に示すように、10psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が若干見られたが2mg/l以上の変動であった。

なお、上層の水質については、水質計メンテナンスのため欠測としております。

表1 4月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		()	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	14.4	2.9	欠測
	中層	14.3	5.8	9.2
	下層	14.4	6.4	7.6
中旬	上層	15.6	4.5	欠測
	中層	15.4	6.9	7.7
	下層	15.5	8	5.1
下旬	上層	17.1	5.5	欠測
	中層	17	6.6	7.2
	下層	17.1	7.2	4.5
月間平均 (4月)	上層	15.7	4.3	欠測
	中層	15.6	6.4	8
	下層	15.7	7.2	5.7

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

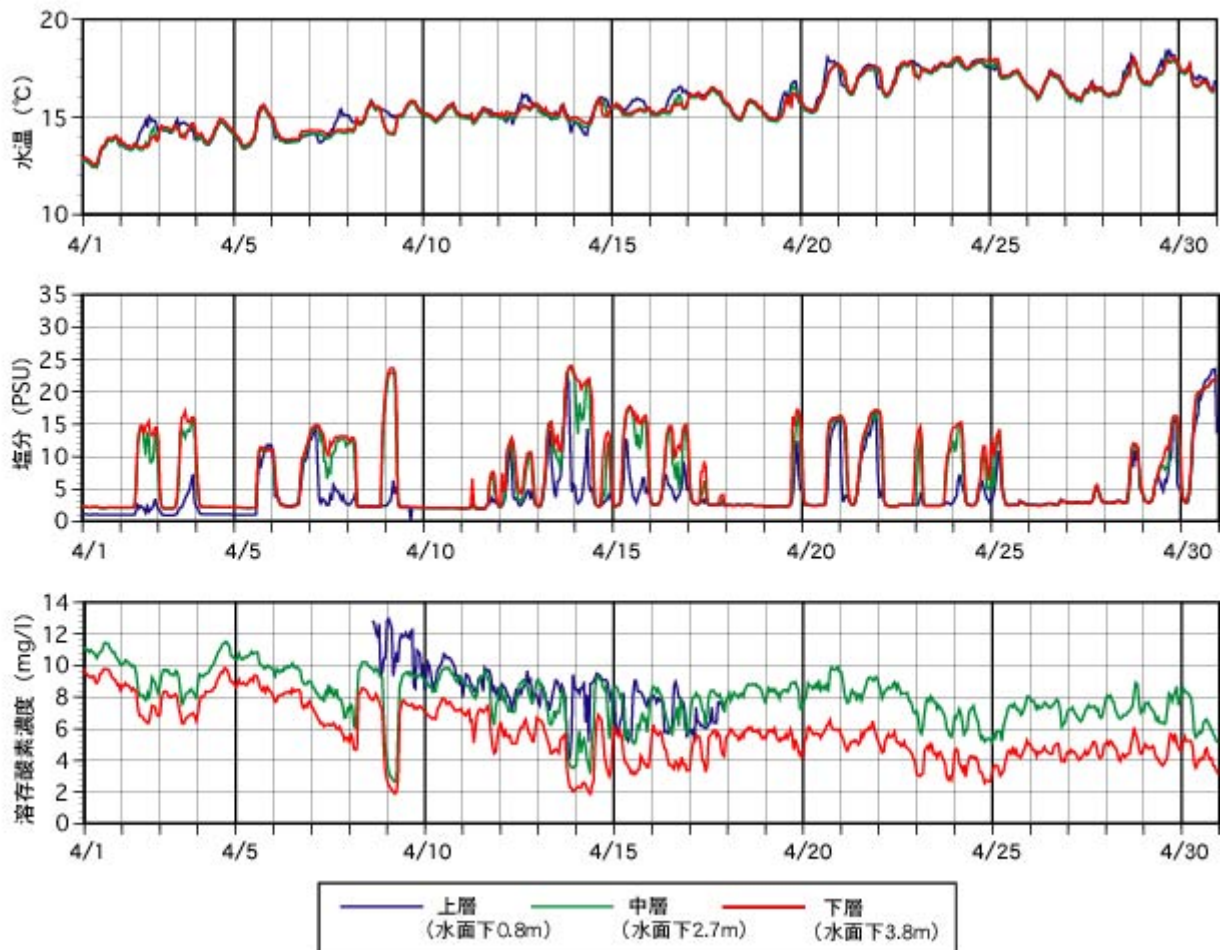


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

図2に示すように、4月の顕著な気圧変動は、4月3日、7日、16日、21日、24日および30日において急激な低下が見られた。全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1011.7hPaは、平年値（平年値1016.0hPa）と比較して低かった。表2に示すとおり、4月の日射量は、0.1080MJ/m²であり、3月と比較して若干高い値を示していた（3月平均値：0.0855MJ/m²）。4月の風向・風速は、平均風速2.9m/sec（平年値3.4m/sec、西風）であり、平年並の値を示していた。

表 2 4 月期の気象概要

	気温 ()	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m ²)
上旬	13.2	1009.6	3.3	南南西	0.1142
中旬	14.9	1011.9	2.8	南南西	0.111
下旬	16.4	1013.6	2.7	南東	0.0987
月間平均 (4月)	14.8	1011.7	2.9	南	0.108

(平年値は、平成 11 年気象の暦 (山陰版) (財) 日本気象協会中国センターより引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

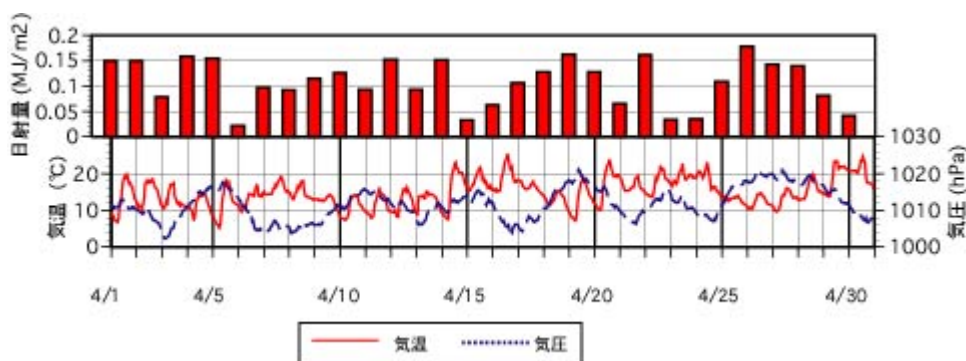


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

4 月の平均東方流速は、上層 12.6cm/sec、中層 10.4cm/sec、下層 9.3cm/sec であった。4 月の東方流速は、潮汐による往復流は見られるが、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。

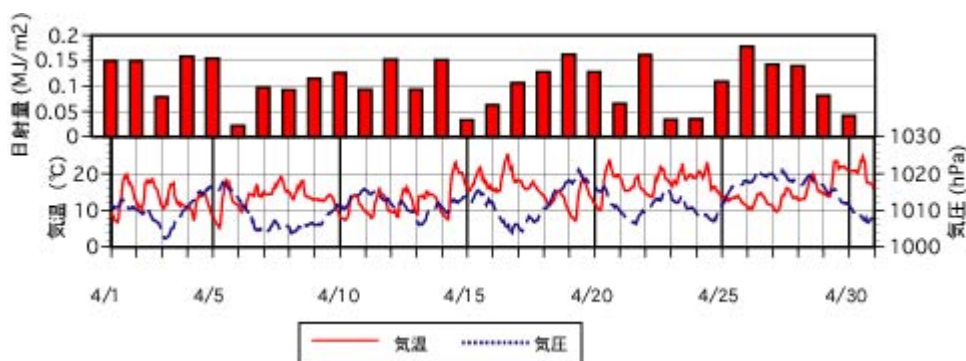


図 3 東方流速の時系列変化
